

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 道路環境課
 担当名: 交通事故緊急対策担当
 内線: 5098 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B17	道路安全施設費			一般会計	土木費	道路橋りょう費	道路維持費	道路安全施設費	
事業期間	昭和41年度～	根拠法令	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律 道路法	宣言項目		04	地域をつなぐ社会基盤の整備	SDGsゴール	3, 11
	分野施策			041039	埼玉の活力を高める道路ネットワークの整備	SDGsターゲット	3-6, 11-2, 11-7		
1 事業の概要 道路附属物の適切な維持管理、整備することにより、交通事故の防止と交通の円滑化を図る。 (1) 事務費の節減による減額 △999千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 道路附属物(照明灯等)の電灯料: 道路附属物の電気設備を使用するため、電気料金を負担する。 イ 道の駅、トンネル等の維持管理: 道の駅やトンネル等における設備機能を維持するため、点検及び修繕等を実施する。 ウ 道路附属物の修繕: 道路交通の安全、円滑を確保するため、道路附属物の点検及び修繕等を実施する。 エ 道路附属物の整備: 道路交通の安全、円滑を推進するため、道路附属物を整備する。 オ 道路照明灯具の賃借料: 道路照明灯具のLED化を推進するため、リース方式による賃借料を負担する。 カ 道路附属物の修繕(財政課指定経費): 道路交通の安全、円滑を推進するため、道路照明灯及びトンネル設備を修繕する。 (2) 事業計画 道路照明灯や防護柵等の道路附属物について、劣化状況に応じた修繕を実施する。 (3) 事業効果 道路附属物を適切に維持管理、整備することにより、安全かつ円滑な交通環境が図られ、交通事故の削減と道路通行の安全を確保できる。 (4) その他 イ 道の駅、トンネル等の維持管理 負担対象: 道の駅はにゅう外5箇所 対象経費: 道の駅等の維持管理に要する費用 負担率: 所要額 相手方: 羽生領土地改良区他3者 工期: 毎年度 過去の実績 平成28年度: 1, 928, 133千円 平成29年度: 2, 208, 860千円 平成30年度: 3, 111, 286千円 令和元年度: 3, 613, 343千円 令和2年度: 3, 747, 780千円						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 地方道路等整備事業債 充当率 90% (通常分90%) 公共施設等適正管理推進事業債 充当率 90% (通常分90%) 一般事業債 充当率 75% (通常分75%) 交付税措置 通常分30%~50%(公適債)									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9, 500千円×10. 5人=99, 750千円 (組織の新設、改廃及び増員なし)									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△999	諸収入	県債					△999	3, 865, 427
現計額	3, 866, 426	31, 600	2, 006, 000					1, 828, 826	